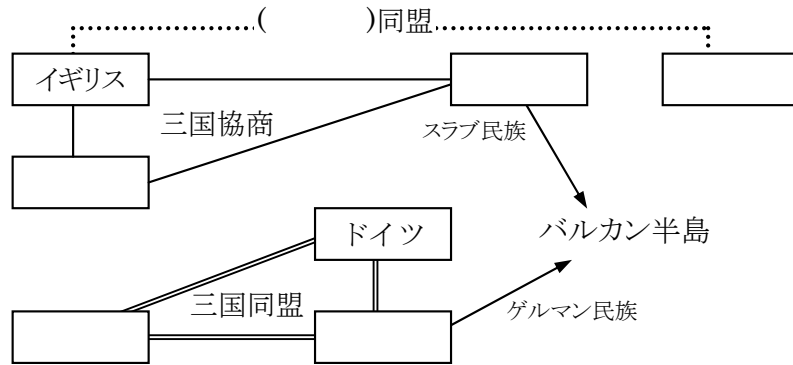


# 第一次世界大戦

## (1) 第一次世界大戦

- ① 列強の対立…植民地をめぐる列強が対立、ヨーロッパではドイツ(3B 政策)・オーストリア・イタリアが\_\_\_\_\_を結び、イギリス(3C 政策)はフランス・ロシアと\_\_\_\_\_を結んだ。



- ② 民族の対立…\_\_\_\_\_と呼ばれたバルカン半島では、民族の独立がからみロシアはスラブ民族を支持し、オーストリアはこれを圧迫していた。
- ③ \_\_\_\_\_事件(\_\_\_\_\_年)…オーストリアの皇太子夫妻が、バルカン半島のサラエボでセルビアの青年に暗殺されると、オーストリアはセルビアに宣戦し、第一次世界大戦が始まった。戦いは\_\_\_\_\_国(イギリス側)と\_\_\_\_\_国(ドイツ側)の間で行われ、ヨーロッパ全土に広まった。
- ④ 日本の参戦…日本は\_\_\_\_\_を口実に参戦し、中国にあった\_\_\_\_\_基地や南洋諸島攻撃した。1915年には中国に\_\_\_\_\_を認めさせた。
- ⑤ \_\_\_\_\_革命…1917年3月に労働者や兵士が運動をおこし、各地に代表会議(ソビエト)をつくり皇帝が退位した。さらに11月には\_\_\_\_\_の指導のもとに労働者・兵士・農民らが臨時政府を倒して、世界初の\_\_\_\_\_主義のソビエト政府をつくり、ドイツとは講和を結んで戦争から手を引いた。
- ⑥ \_\_\_\_\_出兵(\_\_\_\_\_年)  
革命の影響を恐れた日本はアメリカ・イギリス・フランスとともにシベリアに兵を送り(対ソ干渉戦争)シベリアに勢力を広げようとしたが、結局は退いた。
- ⑦ 終戦…1917年には\_\_\_\_\_が連合国側に立って参戦し、1918年ドイツ国内で革命がおこり共和国が成立し、無条件降伏して対戦は終わった。この戦争は世界中を巻き込み、戦車・飛行機・毒ガスなどの新兵器が使われ大きな被害を生んだ。

# 第一次世界大戦

## (2) 大戦後の世界の動き

- ① パリ講和会議(            年)…パリで講和会議が開かれ\_\_\_\_\_条約が結ばれた。
- (1) アメリカのウィルソン大統領は、大戦中から、民族自決や、平和のための国際組織の設立、軍備の制限などを主張していた。
- (2) ドイツは領土を縮小され、巨額の賠償金や軍備縮小を課せられた。
- (3) 民族自決…どの民族も、他の支配や干渉を受けることなく、そのあり方を自主的に決められるとする考え方。これに基づいて東ヨーロッパの国々が独立を果たしたが、アジア・アフリカでは独立は認められなかった。
- ② 抗日運動… 朝鮮では、\_\_\_\_\_年ソウルで知識人や学生が日本からの独立を宣言しデモ行進を始めた。この運動は全国に広まったが、武力によって鎮められた。これを\_\_\_\_\_運動という。また、中国でもベルサイユ条約で日本の利権が認められると、1919年5月4日北京の学生集会をきっかけに、排日、反帝国主義の運動が起こった。(\_\_\_\_\_運動)
- ③ \_\_\_\_\_… 1920年42か国の参加により、世界平和を目的に成立した。日本はイギリス、フランス、イタリアと共に常任理事国となったが、\_\_\_\_\_は議会の反対で加盟せず、ドイツやロシア(ソ連)は、初めから除外されていた。
- ④ 軍縮会議… 1921年の\_\_\_\_\_会議では、主要国の海軍の軍備を制限する条約や、中国の独立と領土の保全を決めた9ヶ国条約、太平洋の平和と現状維持のための4ヶ国条約が結ばれ、日英同盟が廃棄された。また1928年にはパリ不戦条約が、1930年の\_\_\_\_\_軍縮会議では、再び海軍の軍縮条約が結ばれた。
- ⑤ ドイツ…各国で労働運動や社会主義運動が盛んになり、ドイツでは\_\_\_\_\_憲法が作られ、20歳以上の男女の\_\_\_\_\_や、労働者の団結権が定められた。
- ⑥ インド…非暴力・非服従を唱える\_\_\_\_\_の指導のもと、イギリスに対して完全な自治を求める運動が高まった。
- ⑦ 中国…孫文は中国国民党を結成し、中国共産党と協力して民族の自立を目指して運動を行なった。また、後継者の\_\_\_\_\_は1927年に南京に国民政府を作った。

